

## 著作物の届出書

年 月 日

学術研究・産学官連携統括本部  
知的財産統括室長 殿

<届出者> (個人番号は職員番号もしくは学生番号)

大学名			所属部局		
職名		氏名		個人番号	
TEL	( )		E-mail		

東海国立大学機構著作物取扱規程に基づき、下記のとおり届け出ます。

「著作物」とは、著作権法第2条に定める著作物をいい、プログラム・データベースを含みます。ただし、次に掲げるイロハは除きます。

- イ 職員等が、機構での勤務時間外の活動で創作した著作物
- ロ 職員等が、機構と締結した契約の対象外となる活動で創作した著作物
- ハ 医師主導治験臨床試験結果移転等規程に規定された医師主導治験臨床試験結果

なお、プログラムとは、電子計算機を機能させて一の結果を得ることができるようこれに対する指令を組み合わせたものとして表現したものをいいます（著作権法第2条第1項第10号の2）。ただし、その著作物を作成するために用いるプログラム言語、規約及び解法については、著作権法上の保護対象ではなく（著作権法第10条第3項）、届出は不要です。

また、データベースとは、論文、数値、図形その他の情報の集合物であって、それらの情報を電子計算機を用いて検索することができるように体系的に構成したものをいいます（著作権法第2条第1項第10号の3）。ただし、データベースでその情報の選択又は体系的な構成によって創作性を有しないものは、著作権法上の保護対象ではなく（著作権法第12条の2第1項）、届出は不要です。

### 記

1. 著作物の名称

---

2. 著作物の届出理由（該当する□をチェックしてください。）

- 職員等又は機構の学生以外の者に有償で利用させる場合
- 職員等又は機構の学生以外の特定の者に無償で利用させる場合
- 財産的価値が顕在化した場合
- 当該著作物の著作権に対する第三者による侵害の疑義が生じた場合
- その他の理由（ \_\_\_\_\_ ）

3. 知財・技術移転担当部門は、届出を受けた著作物が、機構著作に該当するか否かについて判断する必要がありますので、（該当・否）のいずれかに○を付してください。

(1) 職員等が機構からあらかじめ具体的な指示を受けたものであること（該当・否）  
 該当の場合、いつ、誰から、どのような指示を受けたかを下線部分に記載してください。

---



---



---

(2) 機構の名義で公表するものであること（該当・否）  
 該当の場合、その事情を下線に記載してください。

---



---



---

4. 知財・技術移転担当部門は、届出を受けた著作物が業務関連著作に該当するか否かについて判断する必要がありますので、該当する□をチェックの上、記入をお願いします。

研究経費、使用した施設・設備及びその他の支援について

(1) 機構の研究経費を使用した著作物か否か？

機構の研究経費を使用した

- 共同研究経費     受託研究費     科学研究費補助金     校費     寄付金
- その他（具体的内容： \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_）

機構の研究経費を使用していない

（機構の研究経費以外に使用した資金があれば、その具体的内容：  
 \_\_\_\_\_）

(2) 機構の管理する施設・設備を利用した著作物か否か？

機構の管理する施設・設備を利用した

（その具体的内容： \_\_\_\_\_）

機構の管理しない施設・設備のみを利用した

(3) その他の支援

① 機構において職務上培った知見，研究成果（論文，発明，ノウハウ，プログラム，成果有体物）を利用したか否か？

- 利用した     利用していない

② 機構における他の教職員等の支援（他の教職員又は学生の協力）を受けた著作物か否か？

支援を受けた（具体的内容：\_\_\_\_\_）

支援を受けていない

(4) 財産的価値が大きいか否か？（該当・否のいずれかに○で付す。）（該当・否）

(5) 産学官連携活動に資するものか否か？（該当・否のいずれかに○で付す。）（該当・否）

(6) その他

5. 著作物の創作に関する契約があるか否か？（該当・否のいずれかに○で付し、該当する場合は写しを添付してください。）（該当・否）

6. 著作物の創作者（機構以外の機関に所属する創作者も含めて全員記載してください。）

(1) 機構の創作者（所属，職名，氏名，個人番号（学生の場合，学生番号），アドレス）  
（作成者が複数名いる場合は，今後，知財・技術移転担当部門のヒアリング等の窓口となる代表者の氏名から順に記入し，貢献の割合（合計 100%・整数）も記入してください。）

所属 \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_ 代表者氏名 \_\_\_\_\_ 個人番号 \_\_\_\_\_

学内 E-mail \_\_\_\_\_ 貢献 100%

所属 \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 個人番号 \_\_\_\_\_

学内 E-mail \_\_\_\_\_ 貢献 %

所属 \_\_\_\_\_ 職名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 個人番号 \_\_\_\_\_

学内 E-mail \_\_\_\_\_ 貢献 %

(2) 機構以外の創作者（所属，氏名）

機関名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

7. 権利の持分割合（権利者が複数の場合はすべての権利者の持分割合（合計 100%・整数）を記入してください。）

記入例：東海国立大学機構 100%

(2020.04.01 改定)

本届出書は、パスワードを設定の上、以下の知財・技術移転担当部門代表アドレスまでご提出願います。

岐阜大学：[g\\_chizai@gifu-u.ac.jp](mailto:g_chizai@gifu-u.ac.jp)

名古屋大学：[chizai@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:chizai@aip.nagoya-u.ac.jp)